

小城市立歴史資料館 中林梧竹記念館だより



～展示会開催のお知らせ～

中林梧竹収蔵品展

「ひらけ梧竹のとびら」

◆会期 ～4月8日(日)

◆会場 中林梧竹記念館(桜城館2階)

ひらけ梧竹のとびらパンフレット配布中!

4月8日(日)までの会期で開催中の常設展「ひらけ梧竹のとびら」。期間中、入場者に梧竹書の特徴・魅力を紹介するパンフレットを配布しています。



梧竹はなぜ筆にこだわったのか、年齢を重ねるにつれどのように書は変化したのか、子どもから大人まで楽しめる「梧竹入門」には見逃せない、とびらのように開いて見るかわいいパンフレットです。

また、展示している作品の中から、自分の名前と同じ漢字を見つけたら「梧竹書絵はがき」をもらえる「なまえみつけ!!」も開催中です。

～お知らせ～

「小城武道物語」

昨年の12月から2月まで、小城に伝わる柳生新陰流を紹介する「小城武道物語」の展示を行いました。



また、関連行事として1月28日(日)には、ゆめぷらっと小城で講演会と新陰流の演武を開催。埼玉大学の^{おおぼぎてるお}大保木輝雄名誉教授を講師に「サムライ精神と新陰流」と題し、新陰流の精神と技法についてのお話をいただき、^{はがくれ}葉隠との関連性にも触れられました。

一方、演武では新陰流を継承する春風館道場^{しんぷうかんだう}関東支部から^{あかばね}赤羽根^{たつお}龍夫支部長、^{あかばね}赤羽根^{すけ}大介師範、^{わか}若尾^{おようこ}洋子さんに披露いただきました。



冠木門を設置 石橋の修理も

小城藩邸の遺構として唯一残る石橋の修理と藩邸への道筋に冠木門の設置を行いました。

江戸時代に造られた石橋は、新設の西九州大学校舎(元小城公民館)の南側にあります。老朽化で壊れる寸前でしたが、近くに新しい橋が架かり保存が可能となりました。人や自転車はこれまでどおり石橋を渡ることができます。



冠木門は屋敷内へ通じる最初の門で、鳥居のような形状をしています。平成29年に発掘調査を行い、江戸時代に描かれた藩邸図の配置どおりに^{もんちゆうあと}門柱跡を確認しました。

今回、門柱跡の保護を優先し、実際の位置よりやや東側に本来の門の約3分の2の規模で設置しました。

石橋を渡り、冠木門をくぐって江戸時代に想いを巡らせていただければと思います。

平成30年度 古文書講座受講生募集!

「^{せいむかくしき}政務格式」という小城藩の法令集をテキストとして、地域の歴史と一緒に学んでみませんか。

◆日時 毎月第2土曜日(年12回) 14時～

◆場所 歴史資料館 研修室

◆講師 小城市文化課職員

◆受講料 年間500円(資料代として)

※開館時間 9時～17時 ※休館日 毎週月曜日・祝日

【問合せ・申込み】歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 永田・田久保 ☎71・1132

小城市ホームページから 検索

Facebook 検索

